『幼稚園の現場から』
28・月刊園だより

原町幼稚園園長　鶴谷主一（静岡県沼津市）

幼稚園からは保護者宛に年間100通以上お手紙が発行されます。　ちょっとした連絡や、急な連絡はメールが一般的になっていますが、いまだに園から発行する印刷物の量は減りません。そのため幼稚園にはプリンターやコピー機だけでなく印刷機は必須、人数の多い園は紙切り機や紙折り機も揃え、紙揃えや製本までしてくれるソーターまで備えている園もあります。

今回紹介するのは、園にある印刷機器を駆使して発行する「月刊園便り（冊子）」です。原町幼稚園では2000年から始めて2017年３月号で204号、通算17年続けてきました。毎月１冊を仕上げていくのは、原稿の〆切や製本作業などほんとにタイヘンなことも多いですが、苦労するだけの成果はあると実感しています。

どんな組織でも会報などを発行しますが、園で発行しているところは思ったよりも少ないという印象です。これからやってみたいとお考えの幼稚園、保育園、福祉施設の先生方にもヒントになれば幸いです。

◆冊子タイプに出会って始めるまで

この冊子タイプの園便りに出会ったのは20年ほど前だったと思います。熱心に教育活動を行っている園に見学に伺ったときに見せていただき、園の活動が良く伝わる内容を拝見して「やってみたい！」と思ったものでした。

思ったのはいいけど、いちばんの難関は、実際に記事を書いてもらう教職員にどう理解してやってもらうか、という問題でした。

園長が他園でやっていることを見聞きしてきて、ポンと見本を見せられ「やってくれ！」と言ったところで、すぐにできるものではありません。

- 何を書いたらいいのか？
- 他のクラスと比較されやしないか？
- 書くのに時間がかかる
- 文章も絵も苦手･･･
- 印刷の量がハンパじゃない
- 帳合いをする時間もかかる
- 他クラスの子どもの情報は必要か？･･･

などなど、やらない理由を考えればいくらでも出てくるもんですが、嫌々書いてもらって読み手に楽しさが伝わらないと意味がありません。なんとかみんなのやる気を出してもらうことと、自分たちの園便りだ、という気持ちも持ってもらいたくて、案を出したり、冊子のタイトルを決めてもらったりしてきて了解を得てきたことを思い出します。

◆最初は季刊から

最初はハードルを下げて、季刊（年4回）でいこうと決め、投票とジャンケンで決着した『おもちゃばこ』というタイトルで1998年秋号発行に至りました。クラス便りを書くことには慣れている教員たちでしたから、クラス便りをアレンジして「私のクラスの紹介・クラスで流行っている遊び」をメインに１枚書いてもらいました。それだけではつまらないので、当時使い勝手が良くなってきたデジカメとプリンターを使ってカラーページで担任のプライベートなひと言など“あそび心”を加えて13ページの内容に画用紙に印刷した表紙をかぶせる方法で製作しました。（B5サイズ）

結局『おもちゃばこ』は99年夏号、2000年の新春号の３巻で終了し、2000年４月号か

ら「はらっぱ」という今に繋がる園マガジンがスタートしました。

◆『はらっぱ』のコンセプト

- 読みたくなる、見たくなる見る園便り
- クラスの楽しい様子が伝わる
- 自分の子どもだけでなく友だちのことも
- 園の教育方針が伝わる
- 職員や園長の人となり・考えが伝わる
- 大切なところもつい読んじゃう
- なるほど感がある
- 大人だけでなく子どもも楽しみにする

◆はらっぱの目的

☆親しみ感UPのツールとして

自分の子どもと一緒に育つクラスの友だちはもちろん、学年が違う子どもたちのことも知ってもらい親しみを持ってほしいという思いがありますが、それをさりげなく伝えるツールとして有効です。

また、紙面から先生の人となりやプライベートがちょっと見えて親しみを持ってもらうことは、園と保護者、保護者同士の距離感のとり方に関わってくると思います。人間的な繋がりが活発にできているとトラブルも大きくならずに収まったり、お互いさまという感覚も生まれてきて園運営がスムーズになるのです。

☆園の活動・主旨を伝える

ペーパー１枚だと、紛失したりゴミ箱にポイッと入れられたりして、読み返してもらう確率は減りますが、その月に行う活動の要綱やねらいなどを冊子に入れることで、読み込んだり、読み返したりしてもらえる。我が子のページを読むついでにペラペラと大切なところも読んでもらうのです。

加えて、子育ての情報発信など、保護者に伝えたいことをさりげなくページに入れ込むことができるのもメリットです。

2000年に発行した第１号は21ページでしたが、最近のはらっぱは、50～60ページのボリュームです。面白い紙面を目指していくうちに執筆者も職員だけでなく外部の方にもお願いするようになりました。対人援助学マガジン団士郎編集長のマンガ「木陰のものがたり」も2007年５月からスタートしています。（現在はホンブロック社を通じて園便り掲載用に契約園に配信されています。 http://www.honblock.net/）

◆はらっぱ作成手順

印刷屋に出す園もありますが、そんなにコストをかけられない原町幼稚園では完全手作業で作っています。具体的な製作手順を紹介します。

◆年度初めの作業

新年度、クラスの担任は自分のはらっぱ用のクラスタイトルを考え、規程のサイズでデザインを作ります。これをコピーしておき原稿に貼って使います。

教務主任ははらっぱ発行計画を立てて、〆切日と製作作業日を決めて職員と外部執筆者に知らせます。それを受けて各々年間計画をざっと立てます。

2016年度　≪はらっぱ・特集号≫　発行計画　外部用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
原稿締切日	4/19	5/11	5/27	6/27	7/15	8/30	9/26	10/25	11/25	1/13	2/13	3/3
誕生時紹介	学年 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
クラスのページ	担任 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
あそびっこ	A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
おやこんぼ	福水 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
月の歌	町田 A4×3	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
体操のページ	大島 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
リトルスターのページ	A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
絵本のページ	木村 A4×2	町田 A4×2	大川 A4×2	杉山 A4×2	真野 A4×2	小林 A4×2	伊藤 A4×2	福水 A4×2	酒 A4×2	羽切 A4×2	大内 A4×2	鎌谷 A4×2
みねとも通信	こどものとも社 A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ポンチ	川口 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
親子でリトミック	宮林 A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
武井牧場です！！	A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ぱんだのつぶやき	山本 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
木陰の物語	団士郎 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
保護者のページ	A4×	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
月間ｹﾞﾑさん	A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
おひさま	A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ﾁｬｲﾙﾄﾞｳｵｯﾁﾝｸﾞ	高橋 A4×1	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ｽｸｰﾙﾌﾞｰﾑ	町田 A4×2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞ	鶴谷	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

◆毎月の作業

①原稿をつくる

　各クラスのページは、子どもたちの写真が主になります。担任は各自支給されたデジカメで撮影したクラスの様子をカラープリントし、切り貼りしてコメントを手書きで入れて仕上げていきます。

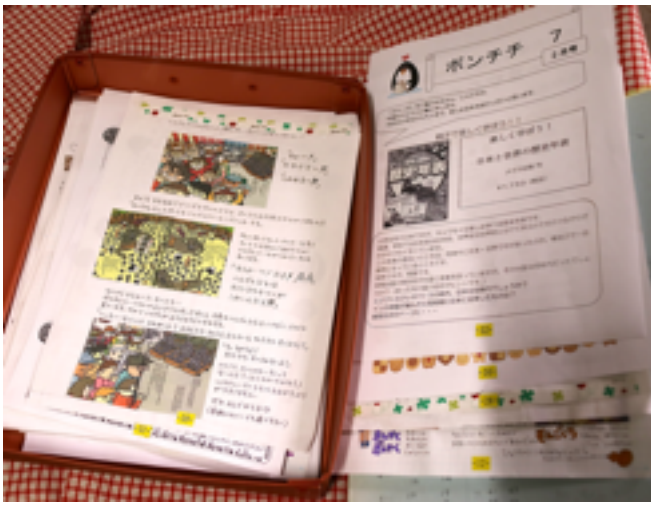
　連絡事項はクラス便り等で発行するので、ここではなるべく単文にします。

　クラス全員を掲載するという縛りがありますので、欠席が続いて写真が撮れなかったときはことわり文を入れたり、前の月の写真を入れたりします。

　　担任以外はそれぞれ受け持っているページを作成します。外部の執筆者からはメール添付で原稿を受け取り園でプリントします。

②ページをつける

　集まった原稿にシールでページをつけていきます。クラスのページ以外は「休載」自由なので、毎月ページ構成が若干変わります。最後のページが埋まらないときのネタを持っておくと臨機応変に対応できますが休載ＯＫにしておくことも長続きする秘訣です。



※集まった原稿にネームランドで作ったページを貼ります

③印刷をする

　ページ付けからここまでは、主に教務主任と園長の仕事です。印刷は複数でやるとうまくいかないので教務主任一人で担当しています。インクが完全に乾いたほうが印刷がスムーズなので２日かけて片面ずつ印刷します。

　原稿毎に版を取って200枚ほど刷るので、A4サイズで片面ずつ取れば簡単なんですが、時間とコスト節約のためA3サイズで一度に片面２ページ取ります。それを両面印刷して４ページ出来上がります。次の表に従って原稿を取って印刷していかなくてはなりませんので、この表が無いとあたまがこんがらがっちゃいます。

◀両面印刷で４ページ/枚　の原稿配置

印刷	製版	原稿見て左	原稿見て右
表１回目	版１	1ページ	3ページ
裏１回目	版２	4ページ	2ページ
表２回目	版３	5ページ	7ページ
裏２回目	版４	8ページ	6ページ
表３回目	版５	9ページ	11ページ
裏４回目	版６	12ページ	10ページ

※実際は60ページまでの表が作ってある。
　原稿左とは、原稿を表に持って左側という意味。
　製版するときはひっくり返すので逆になる。
　表は１日目、裏は翌日に印刷するとインクが乾きスムーズに印刷できる。

※せまい印刷室にこもってひたすら印刷！

④両面印刷した紙を機械で二つに切る

※上に紙をセットして、下からカットされて出てきます
　機種名：デュースリッター（Dupro製）

※刷ってカットし上がったページ

⑤表紙を二つに折る

　表紙は厚紙なので紙折り機ではうまく折れない場合が多いので手作業で丁寧に折ります。ついでに園児名のゴム印を押しておくこともあります。

　表紙は子どもたちが楽しめるように毎月テーマを決めてイラストを描き下ろしてもらっています。絵の得意な職員が描いてもいいね。

※２月号の表紙はシロクマの親子

※折った表紙に園児名のゴム印を押しています

⑥帳合い１

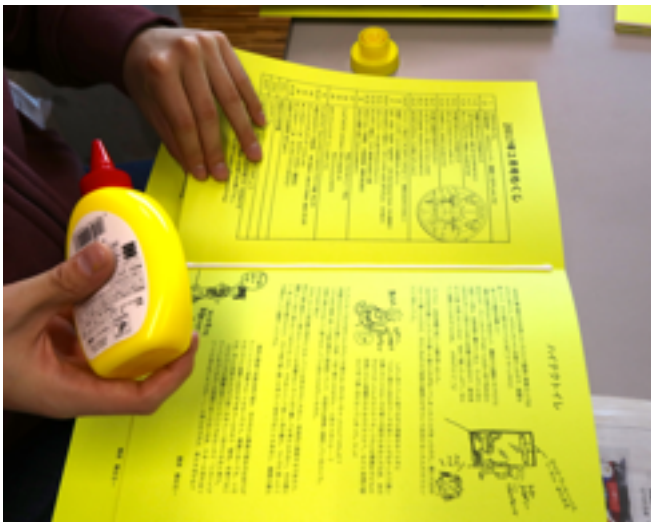
　保育終了後に送迎バスや掃除が終了した職員が集まり、作業が始まります。まずはページを順番に組んでいき、中のページをホチキスで留めます。

※ページをチェックしながらまとめます

※ホチキスで留めていきます

⑦帳合い２

ページ落ちや、汚れをチェックして、表紙の背に木工ボンドを塗って、挟み込んで完成です。



※木工ボンド、わりとたっぷり

※背表紙に挟み込んでギュッとボンドにつけます

《はらっぱデータ》

表紙：マーメイド（四六判160ｋ）
　　色=ミモザ（色は毎年チェンジ）
サイズ：Ａ３+（297×428ミリ）
　　A3より横8ミリ長く紙問屋で裁断
　　四六判100枚を購入してカットしてもらうので余った分はＡ４やＢ５サイズにしてもらって他で活用すると無駄になりません。
中：上質紙90ｋ厚　※インク吸収の良い紙
印刷機：Ａ３サイズまでのモノクロ
カラーコピー機：カラーページ出力用
裁断機：デュースリッター（Dupro製）
ホチキス：PLUSフラット60　針№3U/8ミリ
その他：木工ボンド速乾

※歴代のはらっぱ。年度によって色、絵は毎月違います

◆はらっぱの構成例

全てオリジナルでなく、こどものページはクイズや迷路などの本から引用したりします。
子育てに有用な情報は雑誌や新聞等からの引用掲載も行います。
ニコニコ大作戦と称して、幼稚園関係者の関わるお店のＰＲやイベントの案内なども依頼があれば掲載することも可能です。

◆最近は、

月刊園便り先駆者の幼稚園では、最近はオールカラーだったり、印刷屋さんに発注して素晴らしい出来映えのものを見かけるようになりました。

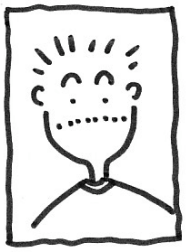
地方の幼稚園ではそんなコストはかけられないため、モノクロ印刷で発行するのがやっとですが、子どもたちの写真やカラフルなマスキングテープでレイアウトされた原稿はカラーなので、もったいないなあ、このカラーを見せたいなあ、と思っておりました。

対人援助学マガジンのようにネットを使えば良いのですが、園のホームページの整備も追いつかずに、あれこれ探しているうちに良いアプリにめぐり合いました。

それはリクルート社が無料で運営するキッズリーというアプリです。１月号からこのシステムを使い園児保護者（登録者）にPDFで読み込んだはらっぱを配信することが可能になりました。https://kidsly.jp/index.html

毎月〆切に追われながら（このマガジンもそうです(T-T)）製作していますが、なんといっても、大切なクラスのページに一度も原稿落ちが無いことは、職員の責任感、そして製作時のチームワークと作業の正確さ、速さのおかげだなあと感謝しています。

※園マガジンに興味をお持ちの方は、メールを頂ければバックナンバーを郵送します。遠慮無くどうぞ！



原町幼稚園　園長　鶴谷主一
ＨＰ：http://www.haramachi-ki.jp/
MAIL：osakana@haramachi-ki.jp
Twitter：@haramachikinder

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「幼稚園の現場から」ラインナップ

第１号　エピソード
第２号　園児募集の時期
第３号　幼保一体化第
第４号　障害児の入園について
第５号　幼稚園の求活
第６号　幼稚園の夏休み
第７号　怪我の対応
第８号　どうする保護者会？
第９号　おやこんぼ
第10号　これは、いじめ？
第11号　イブニング保育
第12号　ことばのカリキュラム
第13号　日除けの作り方
第14号　避難訓練
第15号　子ども子育て支援新制度を考える
第16号　教育実習について
第17号　自由参観
第18号　保護者アナログゲーム大会
第19号　こんな誕生会はいかが？
第20号　ＩＴと幼児教育
第21号　楽しく運動能力アップ
第22号　〔休載〕
第23号　大量に焼き芋を焼く
第24号　お話あそび会（その１・発表会の意味）
第25号　お話あそび会（その２・取り組み実践）
第26号　お話あそび会（その３・保護者へ伝える）
第27号　おもちゃのかえっこ

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊